

大会テーマ

# いま求められる若者のキャリア形成と 大学教育・大学評価

大学評価学会は2004年3月28日に設立され、2014年で10周年を迎えます。設立大会で決議した「大学評価京都宣言＝もう一つの「大学評価」宣言」は、以下のように述べています。「……高等教育機関は、政府や産業界など特定の者のためだけに存在するものではありません。公共的な存在として、すべての市民のために存在しているのです。学生たちの学びの成果は彼ら自身の成果であるだけでなく、社会全体の貴重な成果として認識されなければなりません。このような視点から、大学評価の基本に、学生の発達保障が明確に位置づけられる必要があるでしょう。……」と。

このことに関連して、21世紀に入って急速に広がった「キャリア教育」をどのようにとらえればよいのでしょうか。日本学術会議は「回答／大学教育の分野別質保証の在り方について」(2010)において「大学と職業との接続の在り方について」を特にとりあげて、「大学教育の職業的意義」を高めることを提起しています。一方、児美川孝一郎氏は『権利としてのキャリア教育』(2007)の視点を提示しつつも、近著のタイトルは『キャリア教育のウソ』(2013)としています。「(共に)どう生きるか」の探究と深く結びついた本来的な「キャリア形成」を保障する大学教育へといざなう大学評価の在り方を問うていく必要があります。

以上のような課題意識から、本大会では「いま求められる若者のキャリア形成と大学教育・大学評価」をめぐって論議を深めたいと思います。多数の方々の参加をお待ちしています。

日時: 2014年3月1日(土)～3月2日(日)

場所: 山梨大学・甲府キャンパス・総合研究棟(Y号館)

住所: 甲府市武田4-4-37

(徒歩) 甲府駅北口より武田通りを北上(約15分)

(バス) 甲府駅北口2番バス停より「武田神社」または「積翠寺」行き、「山梨大学」下車(約5分)

参加費: 会員1500円/会員外3000円(申込不要)/院生・学生等1000円

懇親会費: 4000円(院生・学生等2000円/「院生・学生等」扱いは会員・非会員を問わない)

大会連絡先: 大会実行委員会 委員長・日永龍彦(山梨大学大学教育研究開発センター)

E-mail: [thinaga@yamanashi.ac.jp](mailto:thinaga@yamanashi.ac.jp) TEL: 055(220)8279, 8271 FAX: 055(220)8207

3月1日(土)

9:00～ 受付 (Y号館 Y-13)

9:30～12:00 第1分科会 (自由研究発表)

[A会場: Y-11] 「移行問題・発達保障」 司会: 石井 拓児 (愛知教育大学)

- 1) 白波瀬 正人(千葉県立八千代東高校)「福祉分野へ進路決定する普通科高校生の現状と課題」
- 2) 渡部(君和田)容子(東京医療保健大学)「地方県における人材養成・確保施策—保育士—」
- 3) 西垣 順子(大阪市立大学)「糸賀思想に基づく発達保障のための実践記録を使った  
大学生向け発達教育の可能性と課題」
- 4) 安藤 未帆(神戸大学[大学院生])「発達障がい青年の青年期教育と移行支援  
—「専攻科」に着目して—」

[B会場: Y-12] 「大学評価・大学政策」 司会: 岡山 茂 (早稲田大学)

- 1) 日永 龍彦(山梨大学)「米国統治下の沖縄における大学設置認可制度の形成過程」
- 2) 細川 孝(龍谷大学)「大学評価村(大学評価利益共同体)」研究の基本視角  
—日本の「大学評価」の特異性との関係で—
- 3) 蔵原 清人(工学院大学)「中教審組織運営部会の審議まとめの検討—大学評価の視点から—」
- 4) 西出 良一(佛教大学[研究員])「ミッション再定義に係る政策動向と進行状況」

12:00～13:00 昼食休憩 (第V期 第8回理事会)  
(※会員控室: Y-13、理事会: Y-202)

13:00～13:50 第11回会員総会 (Y-15)

14:00～17:45 シンポジウム (Y-15)

[基調講演]14:05～15:00

「大学と職業の「忘れられた連関」を取り戻す  
—大学におけるキャリア支援・教育の現状と今後の課題—」  
児美川 孝一郎 (法政大学)

主著: 『権利としてのキャリア教育』(2007)、『キャリア教育のウソ』(2013) など  
日本学術会議「質保証」2010回答「大学と職業との接続検討分科会」幹事

[報告]15:00～16:00

- 1) 「キャリア教育と人格形成—高校生・青年の成長、発達を保障するために—」  
小池 由美子(埼玉県立川口北高校)
- 2) 「大学評価における「学生のキャリア形成」の位置づけ  
—評価によるキャリア形成支援の可能性—」日永 龍彦(山梨大学)

[討論]16:15～17:45

<司 会>蔵原 清人(工学院大学) 渡部 昭男(神戸大学)

18:00～19:45 懇親会 (山梨大学学生会館 生協食堂)

10:00～12:30 分科会（午前部）

3月2日（日）

**第2分科会（Y-11） 座長：川口洋誉（愛知工業大学）****「発達保障」テーマ：グローバル人材育成と発達保障の相克**

<趣旨> 大学全入時代を迎え、現実の大学は多様な学生を受け入れている。そのなかには学力的、経済的、精神的、また人間関係の面において、困難を抱えた青年が少なくない。その一方で、今日、「グローバル人材」の育成が国家戦略として掲げられ、大学・大学院はその「主要な担い手」として捉えられている。本分科会では、全入時代の大学教育における「グローバル人材育成と発達保障の相克」を問うことにより、青年期教育の意義について議論・検討し、多様な学生を受け入れる青年期教育機関としての大学等に係る評価視点を探る。

- 1) 川口 洋誉(愛知工業大学)「グローバル人材育成と発達保障の相克—問題提起として—」
- 2) 中嶋 哲彦(名古屋大学)「大学の大衆化」と高等教育政策のゆくえ」
- 3) 児島 功和(岐阜大学)「大学進学は若者に何をもたらしたのか？  
—質的・量的調査による分析を中心として—」

**第3分科会（Y-12） 座長：井上千一（大阪人間科学大学）****「大学経営」テーマ：改善につながらない「大学経営評価」****—認証評価は「大学経営」の何を評価しているのか—**

<趣旨> 「大学経営」は高等教育機関としての大学がその社会的使命を達成するために行われるものである。大学は営利企業とは異質の組織（経営体）であり、その経営のあり様も営利企業とは異なった原理にもとづいて行われる必要がある。「大学経営」は、二つの内容を含むものとして理解されなければならない。①教育・研究機関としての「大学経営」の側面と、②その事業のための「法人経営」の側面である。それぞれ固有の領域を有するとしても、前者を軸（基本）にした両者の関係のあり方を考察していく必要がある。しかし、現状の「認証評価」は、「大学経営」の諸問題を抉り出し、その解決を志向するものでは全くない。本分科会では、改善につながらない「大学経営評価」の現状を捉え、今後の課題を考察する。

- 1) 米津 直希(名古屋大学[大学院生])「国立大学の経営—トップダウン、「目標管理」、経営責任—」
- 2) 重本 直利(龍谷大学)「私立大学の経営  
—同族経営、PDCAサイクル、資産運用などにおける大学の私物化・国家化・企業化—」

12:30～13:30 昼食休憩（第V期 第9回理事会）

（※会員控室：Y-13、理事会：Y-202）

3月2日(日)

13:30～16:00 分科会(午後の部)

**第4分科会(Y-11) 座長：村上 孝弘(龍谷大学)**

**「教職協働」テーマ:学生を主役とした学習支援者としての教職協働**

＜趣旨＞大学教育における「学生のキャリア形成」を考えた場合、教員も職員も学生の人間的な成長を支援するという役割を担う。従来の「教学は教員、事務手続きは職員」といった分担では収まりきれないものがある。民間企業の経営手法を取り入れたNPMや経済的効率性の追求が、果たして、市民的公共性を標榜する大学においてそれほど重要なものであろうか。大学図書館において、大学教育における情報環境において、学生こそが主役であることを忘れたマネジメントは何を意味するのか。単なるスペシャリストではなく、教員職員一体となった学習支援のできる専門性のあるゼネラリストを必要とするのではないだろうか。また、教職を横断した職務を担う新たな教育職員こそが、学生のためになる真の大学職員ではないか。「学生を主役とした学習支援者としての教職協働」を考えたい。

- 1) 三宅 正伸(龍谷大学[非常勤])「大学経営におけるNPMについて」
- 2) 安東 正玄(立命館大学)「大学図書館から見える、教育支援」
- 3) 奥原 利昌(山梨大学)「大学教育における情報環境の整備と教職協働」

**第5分科会(Y-12) 座長：渡部 昭男(神戸大学)**

**「13条問題」テーマ:「無償教育の漸進的導入」留保撤回後の研究と運動の進め方**

＜趣旨＞「無償教育」に関して、日本国憲法は義務教育無償(26条2項)を、児童権利条約は初等義務教育無償(28条1項(a))と中等教育への無償教育の導入(同(b))を規定している。これらに加えて、2012年9月、日本政府は国際人権A規約の中等・高等教育における「無償教育の漸進的導入」(13条2項(b)(c))に係る留保撤回を国連に通告し、同条項に拘束される旨を表明した。留保撤回後における「無償教育の漸進的導入」原則に係る研究と運動のあり方を探る。

- 1) 腰山 千明(龍谷大学)「日本における高等教育無償化に向けて  
—社会権規約第13条2項(c)からの視座—」
- 2) 田中 秀佳(帝京短期大学)「国際人権法と高等教育無償の原理」
- 3) 渡部 昭男(神戸大学)「留保撤回後における高校授業料無償化法の見直し問題」

**16:10～17:00 総括討論(Y-15)**

**司会：植田 健男(名古屋大学)**

＜大学評価学会共同事務局＞

〒657-8501 神戸市灘区鶴甲3-11 神戸大学発達科学部 渡部昭男研究室

E-mail : akiowtnb@port.kobe-u.ac.jp / TEL & FAX:078(803)7726

〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67 龍谷大学経営学部 細川孝研究室

(会費・発送・HP管理) E-mail : hosokawa@biz.ryukoku.ac.jp / TEL & FAX:075(645)8634